

町 民 意 見 提 出 手 続 の 意 見 募 集 結 果
意 見 概 要 及 び 検 討 結 果 に つ い て

令和6年3月11日

第3期清水町障がい者基本計画・第7期清水町障がい福祉計画・第3期清水町障がい児福祉計画
策定に係る意見提出について

番号	意見の概要	町の考え方	意見への対応
1	<p>＜意見記入欄＞</p> <p>障がい福祉についての意識調査（関係者）より。</p> <p>Q22 障がい福祉について、あなたや家族が思っていることを自由にお書きください。</p> <p>という欄で、</p> <p>60代 男性『障がい者の前に、まず健常者がまともに暮らせる町づくりをお願いしたい』というのがあり、驚きました。</p> <p>いまだに、差別して蹴落とそうとする価値観があるのが、わかりました。</p> <p>清水町では、障がいのある子供達も学校で同級生と一緒に育っている様なので、その様な子供達には上記の様な価値観はたぶん無いと思います。</p> <p>私も小学校の時にとても仲が良かった友達の中に、当時、知恵遅れ、と言われる子が何人かいました。私は小学校中学年の子供だったので、相手の能力不足を考慮する事ができず、普通の友達にする様な意地悪をしてしまった事もありますが、普通の子ならケンカしてくれる事も、ケンカしてくれなかった時、ケンカをする能力が無いのに気づき、反省しました。</p> <p>好きだから意地悪するとか通用しないので、そんな事はし</p>	<p>本計画では、基本理念に「お互いに支えあい、自分らしく暮らし続けることができる、共に生きるまちづくり」を掲げています。</p> <p>障がいのある人もない人も、お互いのことを理解しあえる環境が必要であり、そのためには「お互いを知る機会」が必要であると考え、障がいに対する理解への取り組みを進めていきます。</p>	<p>計画に盛り込み済みです。</p> <p>P.18 「基本目標1 支えあい、助けあえるまち」の「具体的施策（1）障がいへの理解促進」にある施策「■障がいに対する理解啓発」に記載しています。</p>

	<p>ないで正直に仲良く楽しく一緒にいる様になりました。</p> <p>誰でも何かと、能力の足りないところがあると思います。</p> <p>十勝の中小企業同友会の仲間達が、障がい者雇用の現状や状況を教えてくれますが、多くの「障がい者」と呼ばれる人達は、ほとんどの普通の人にはできないような、高度な技術で仕事をこなしています。</p> <p>私が子供の時に経験したように、ハンディキャップの人と呼ばれても、きっと役目があるのだと思います。</p> <p>70代 女性『障がい者は年齢を重ねれば、ほとんどの人になる。・・・』 という意見について、まさにそのとおりだと思いました。</p>		
--	---	--	--